

	富山大学 保健系分野（薬学）
学部・研究科名	薬学部（創薬科学科（4年制）：50名、薬学科（6年制）：55名） 医学薬学教育部（M：35名、D3：8名、D4：4名） 生命融合科学教育部（D3：8名） 和漢医薬学総合研究所（共同利用・共同研究拠点）
沿革・設置目的	<p>共立富山薬学校（私立）の流れを汲み、富山県立薬学専門学校、富山薬学専門学校（薬学部の前身）を経て、昭和24年、薬学に関する教育・研究を行うことを目的とし、富山大学薬学部が設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 富山大学設置 昭和24年（1949年） 富山大学薬学部設置</p> <p>昭和38年（1963年） 大学院薬学研究科を設置（修士課程） 昭和38年（1963年） 富山大学薬学部附属和漢薬研究施設設置（和漢薬研究所を経て平成17年（2005年）和漢医薬学総合研究所へ改組）</p> <p>昭和51年（1976年） 富山医科薬科大学薬学部設置（富山大学より移行）</p> <p>昭和53年（1978年） 大学院薬学研究科を設置（博士課程） （平成18年（2006年）生命融合科学教育部、医学薬学教育部に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行 平成17年（2005年） 富山大学、高岡短期大学との再編・統合により富山大学薬学部設置</p> <p>平成18年（2006年） 薬学科（6年制）、創薬科学科（4年制）を設置 平成22年（2010年） 和漢医薬学総合研究所が共同利用・共同研究拠点到に認定 平成24年（2012年） 薬学専攻（D4）を設置</p>
強みや特色などの役割	○ 富山大学の理念等に基づき、研究マインドを持ち広い分野で活躍可能な高い付加価値を有する薬剤師を養成するとともに、創薬科学及び臨床薬学を中心とした薬学領域の教育・研究者、治験を指導できる人材の養成を目指す。特に、和漢薬に特化した講義や医学・薬学・看護学合同の実習、中国・韓国を始めとするアジア各国の大学との連携等を推進し、東西医薬学の融合により地域と国際社会に貢献する研究人材を育成する。

- 「くすりの富山」に根差した県内唯一の薬学部として、東西医療に通じ、地域の健康維持の核となる薬剤師等の人材の育成や、地域医療・在宅医療に関する現職薬剤師の実践技術向上等を通じて、超高齢化社会における地域の医療支援を強化する。
- 薬化学や薬剤学・薬理学等の質の高い研究を推進し、医薬学の発展に貢献する。また、富山県の基幹産業である創薬や医療機器産業の振興に向けて、産官学の研究交流と医薬理工および和漢医薬学総合研究所との連携を踏まえ、富山発の革新的医薬品・医療機器創出を促進し、医療の進歩に貢献する。